



平成25年6月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成25年2月8日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 フジコー

コード番号 2405 URL <http://www.fujikoh-net.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 小林 直人

問合せ先責任者 (役職名) 経営企画室長

(氏名) 清水 周二

TEL 03-3841-5431

四半期報告書提出予定日 平成25年2月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年6月期第2四半期の業績(平成24年7月1日～平成24年12月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年6月期第2四半期	1,087	17.3	126	191.1	86	—	50	—
24年6月期第2四半期	926	12.6	43	△16.9	3	△64.6	1	△92.9

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年6月期第2四半期	16.26	—
24年6月期第2四半期	0.41	0.41

(注)25年6月期第2四半期における潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、希薄化効果を有している潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年6月期第2四半期	2,872	1,089	37.9
24年6月期	2,882	899	30.8

(参考) 自己資本 25年6月期第2四半期 1,087百万円 24年6月期 888百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年6月期	—	0.00	—	5.00	5.00
25年6月期	—	0.00	—	—	—
25年6月期(予想)	—	—	—	6.00	6.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年6月期の業績予想(平成24年7月1日～平成25年6月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,000	7.2	170	73.5	110	348.9	60	—	18.86

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(注)「四半期財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則」第5条の4に該当するものです。詳細は、四半期決算短信(添付資料)5ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年6月期2Q	3,181,600 株	24年6月期	2,561,600 株
② 期末自己株式数	25年6月期2Q	78 株	24年6月期	78 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年6月期2Q	3,078,188 株	24年6月期2Q	2,558,201 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、作成日現在において入手可能な情報に基づいて算定しております。今後の経済状況等の変化により、実際の業績は異なる結果となる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項について、四半期決算短信(添付資料)4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する定性的情報	2
(2) 財政状態に関する定性的情報	3
(3) 業績予想に関する定性的情報	4
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	5
会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	5
3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要	5
4. 四半期財務諸表	6
(1) 四半期貸借対照表	6
(2) 四半期損益計算書	8
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 継続企業の前提に関する注記	10
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する定性的情報

当第2四半期累計期間における取り組みは、作業手順の見直しを行い、各種作業の合理化を進めることにより、稼働率の向上及び効率的な施設運営に注力してまいりました。また、合わせて売上原価の低減及び受入数量の拡大に努めてまいりました。さらに、将来の事業規模の拡大に向けた取り組みに関して、具体的な検討も進めてまいりました。建設系リサイクル事業は第1四半期同様、各施設とも受入数量及び受入平均単価ともに計画を上回る数値で、堅調に推移しております。食品系リサイクル事業は飼料化原料の品質及び受入価格に課題が多く、計画を下回る受入数量であります。液状化飼料の新規販売契約は堅調に推移しております。

これらの取り組みの結果、第1四半期に引き続き売上高は過去最高の1,087百万円（前年同期比17.3%増）となりました。

売上原価は、新築廃棄物の収集運搬業務及び解体工事の減少により外注費用が、また、高額な部品交換等が発生しておりますが各施設の維持管理費も前年同四半期比及び計画比を下回っております。一方、受入数量の増加により埋立処分費用が、業績計画を上回ることによる社員への業績賞与の支給により人件費が、前年同四半期比及び計画比を上回っております。売上原価合計は前年同四半期比及び計画比を上回っておりますが、売上高の増加により売上総利益は231百万円（前年同四半期比62.3%増）となり、売上高総利益率も大幅に改善しております。

販売費及び一般管理費は、支払手数料等の削減に努めましたが、業績賞与の支給により人件費が増加したため、105百万円（前年同四半期比6.0%増）となりました。営業利益は、売上高の増加により126百万円（前年同四半期比191.1%増）、経常利益は86百万円（前年同四半期の経常利益は3百万円）、四半期純利益は50百万円（前年同四半期の四半期純利益は1百万円）となり、売上高の回復により収益性が大幅に改善しております。

セグメントの業績は次の通りであります。

①建設系リサイクル事業

(単位：百万円)

	当第2四半期	前第2四半期	前年同四半期比	計画	計画比
売上高	877	682	195	796	81
売上原価	677	593	83	640	36
売上総利益	200	88	111	155	45

建設系リサイクル事業は、多業種の多様な取引先に支えられ、安定した受入数量と受入平均単価により堅調に推移しております。焼却施設の受入数量は前年同四半期比29.4%増加、発電施設は16.9%増加するとともに、受入平均単価の向上により焼却施設の売上高は45.9%増加、発電施設は20.7%増加しております。その他の破碎施設におきましても取引先の増加等により売上高は35.9%、廃プラスチック類破碎圧縮施設も営業の強化により売上高が43.7%増加しております。

売上原価は人件費、電気料金、埋立処分費用等が増加した結果、合計で前年同四半期比83百万円増加しております。

これらの結果、当第2四半期累計期間の売上高は877百万円（前年同四半期比28.6%増）、売上総利益は200百万円（前年同四半期比125.8%増）となりました。

②食品系リサイクル事業

(単位：百万円)

	当第2四半期	前第2四半期	前年同四半期比	計画	計画比
売上高	135	145	△10	133	1
売上原価	106	107	△1	99	6
売上総利益	29	32	△3	34	△5

食品系リサイクル事業は、液状化飼料の販売契約先が増加しておりますので、飼料原料の受入数量拡大に取り組んでまいりました。堆肥化施設の受入数量は前年同四半期比29.4%減少しておりますが、受入平均単価が7.8%向上した結果、売上高は前年同四半期比で23.9%減少しております。飼料化施設は、包装食品の受入数量が増加傾向ではありますが、飼料化原料に適したものが少なく、受入数量及び売上高は前年同四半期と概ね同額となりました。銚田ファームは業務の改善が進んでおり、飼料及び養豚の売上高は、前年同四半期比48.9%増加しております。

売上原価は液状化飼料の加工数量増加により、人件費、消耗品費、委託手数料が増加しており、前年同四半期比では下回っておりますが、計画比は若干上回っております。

これらの結果、当第2四半期累計期間の売上高は135百万円（前年同四半期比7.0%減）、売上総利益は売上高の減少により29百万円（前年同四半期比11.2%減）となりました。

③白蟻解体工事

(単位：百万円)

	当第2四半期	前第2四半期	前年同四半期比	計画	計画比
売上高	74	99	△24	84	△9
売上原価	72	83	△10	76	△4
売上総利益	2	16	△13	8	△5

白蟻解体工事は、解体工事体制の見直し及び白蟻工事の縮小により、前年を下回る見通しでありましたが、工程の兼ね合いから受注件数が減少したため、計画比も若干下回っております。

これらの結果、当第2四半期累計期間の売上高は74百万円（前年同四半期比24.5%減）、売上総利益は2百万円（前年同四半期比85.2%減）となりました。

(2) 財政状態に関する定性的情報

①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期会計期間末の総資産の状況は、前事業年度末に比べ10百万円減少し、2,872百万円となりました。主な増減要因は次のとおりです。

流動資産については、新株発行による資金調達等により現金及び預金が90百万円増加、売上高の増加により売掛金が21百万円増加したことにより、前事業年度末に比べ126百万円増加し、463百万円となりました。

固定資産については、減価償却及び繰延税金資産の取崩し等により、前事業年度末に比べて137百万円減少し、2,409百万円となりました。

流動負債については、短期借入金及び未払金の減少等により、前事業年度末に比べ62百万円減少し、534百万円となりました。

固定負債については、借入金及び社債の返済等により、前事業年度末に比べ138百万円減少し、1,248

百万円となりました。

純資産については、新株発行により資本金及び資本準備金が161百万円増加、四半期純利益50百万円、期末配当金12百万円の計上、新株予約権11百万円の償却等により、前事業年度末に比べ189百万円増加し、1,089百万円となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期累計期間末における現金及び現金同等物は、前事業年度末に比べ90百万円増加し、103百万円となりました。各活動におけるキャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は224百万円（前年同四半期は152百万円の収入）となりました。これは主に減価償却費の計上122百万円、税引前四半期純利益78百万円の計上等によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は43百万円（前年同四半期は48百万円の支出）となりました。これは主に有形固定資産の取得40百万円の支出等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は89百万円（前年同四半期は99百万円の支出）となりました。これは主に新株発行による収入161百万円と短期借入金の返済93百万円、長期借入金の返済93百万円、割賦及びファイナンスリース未払金の返済22百万円、新株予約権の買取による支出11百万円、社債の償還による支出20百万円、期末配当金12百万円の支出等によるものであります。

(3) 業績予想に関する定性的情報

業績予想につきましては、当第2四半期会計期間の売上高が計画を上回っており、堅調に推移しております。売上高は、売上構成比の高い建設系リサイクル事業において、取引先業種の多様化に取り組んでまいりました結果、受入平均単価が向上するとともに受入数量も堅調に推移しているため、計画を上回る見通しであります。

売上原価につきましては、受入数量の増加に伴い増加する費用もあり、計画を上回る恐れもありますが、売上原価率の改善により売上総利益の維持を見込んでおりますので、現時点におきまして前回公表数値に変更はありません。変動が見込まれる場合は、必要に応じて適時開示してまいります。

(単位：百万円)

	当第2四半期	前第2四半期	前年同四半期比	計画	計画比
売上高	1,087	926	160	1,000	87
売上原価	855	784	71	800	55
売上総利益	231	142	88	200	31
販売管理費	105	99	5	100	5
営業利益	126	43	82	100	26

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

当社は、法人税法の改正に伴い、当第1四半期会計期間より、平成24年7月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

これによる当第2四半期累計期間の営業利益、経常利益及び税引前四半期純利益への影響は軽微であります。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

4. 四半期財務諸表
(1) 四半期貸借対照表

(単位: 千円)

	前事業年度 (平成24年6月30日)	当第2四半期会計期間 (平成24年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	13,048	103,952
受取手形及び売掛金	260,934	282,903
仕掛品	9,555	17,094
原材料及び貯蔵品	19,675	12,099
前払費用	22,149	17,623
繰延税金資産	15,545	27,469
その他	683	3,993
貸倒引当金	△4,950	△2,026
流動資産合計	336,643	463,109
固定資産		
有形固定資産		
建物	1,551,118	1,551,756
減価償却累計額	△523,492	△549,971
建物(純額)	1,027,626	1,001,784
構築物	283,215	283,215
減価償却累計額	△169,780	△175,816
構築物(純額)	113,435	107,398
機械及び装置	2,580,637	2,563,418
減価償却累計額	△1,595,192	△1,653,617
機械及び装置(純額)	985,445	909,800
車両運搬具	46,911	52,048
減価償却累計額	△40,345	△41,239
車両運搬具(純額)	6,565	10,809
工具、器具及び備品	37,552	37,552
減価償却累計額	△32,387	△33,344
工具、器具及び備品(純額)	5,165	4,208
生物	4,734	6,369
減価償却累計額	△1,830	△2,704
生物(純額)	2,903	3,665
土地	307,995	307,995
建設仮勘定	4,213	4,713
有形固定資産合計	2,453,350	2,350,375
無形固定資産		
その他	16,122	14,234
無形固定資産合計	16,122	14,234
投資その他の資産		
関係会社株式	35	135
繰延税金資産	49,072	18,460
その他	33,687	31,684
貸倒引当金	△6,114	△5,846
投資その他の資産合計	76,680	44,434
固定資産合計	2,546,152	2,409,044
資産合計	2,882,796	2,872,153

(単位:千円)

	前事業年度 (平成24年6月30日)	当第2四半期会計期間 (平成24年12月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	134,525	135,743
短期借入金	93,892	—
1年内返済予定の長期借入金	200,004	207,807
未払金	104,781	76,156
未払法人税等	3,141	12,325
賞与引当金	—	29,500
その他	60,332	72,939
流動負債合計	596,678	534,471
固定負債		
社債	20,000	—
長期借入金	1,220,770	1,119,545
長期末払金	103,335	86,338
その他	42,750	42,750
固定負債合計	1,386,855	1,248,633
負債合計	1,983,534	1,783,105
純資産の部		
株主資本		
資本金	213,372	294,592
資本剰余金	334,472	415,072
利益剰余金	340,234	377,482
自己株式	△35	△35
株主資本合計	888,044	1,087,111
新株予約権	11,217	1,936
純資産合計	899,262	1,089,048
負債純資産合計	2,882,796	2,872,153

(2) 四半期損益計算書
第2四半期累計期間

(単位:千円)

	前第2四半期累計期間 (自 平成23年7月1日 至 平成23年12月31日)	当第2四半期累計期間 (自 平成24年7月1日 至 平成24年12月31日)
売上高	926,890	1,087,457
売上原価	784,131	855,751
売上総利益	142,758	231,706
販売費及び一般管理費	99,346	105,345
営業利益	43,411	126,360
営業外収益		
受取利息	10	12
受取家賃	797	2,854
その他	1,070	1,535
営業外収益合計	1,878	4,401
営業外費用		
支払利息	28,268	24,454
社債利息	894	149
支払手数料	8,279	17,014
その他	4,148	2,961
営業外費用合計	41,591	44,580
経常利益	3,698	86,182
特別利益		
固定資産売却益	970	—
リース解約益	3,406	—
特別利益合計	4,376	—
特別損失		
固定資産売却損	11	39
固定資産除却損	97	7,406
貸倒引当金繰入額	178	—
特別損失合計	287	7,446
税引前四半期純利益	7,787	78,736
法人税、住民税及び事業税	937	9,993
法人税等調整額	5,807	18,687
法人税等合計	6,744	28,681
四半期純利益	1,043	50,054

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位: 千円)

	前第2四半期累計期間 (自 平成23年7月1日 至 平成23年12月31日)	当第2四半期累計期間 (自 平成24年7月1日 至 平成24年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	7,787	78,736
減価償却費	123,546	122,010
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△3,098	△3,191
金利キャップ評価損益(△は益)	56	21
受取利息及び受取配当金	△10	△12
支払利息	29,163	24,604
固定資産除却損	4,036	7,406
有形固定資産売却損益(△は益)	△959	39
売上債権の増減額(△は増加)	16,561	△21,594
たな卸資産の増減額(△は増加)	△5,576	37
仕入債務の増減額(△は減少)	22,381	6,141
賞与引当金の増減額(△は減少)	—	29,500
その他	△11,027	6,887
小計	182,862	250,585
利息及び配当金の受取額	10	9
利息の支払額	△28,919	△25,005
法人税等の支払額	△1,584	△1,559
営業活動によるキャッシュ・フロー	152,368	224,030
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△48,633	△40,077
無形固定資産の取得による支出	△300	—
有形固定資産の売却による収入	1,438	9
貸付けによる支出	△1,000	△1,000
貸付金の回収による収入	200	1,000
その他	△4	△3,329
投資活動によるキャッシュ・フロー	△48,300	△43,397
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△8,578	△93,892
長期借入金の返済による支出	△98,779	△93,422
社債の発行による収入	40,000	—
社債の償還による支出	△8,000	△20,000
割賦債務の返済による支出	△9,595	△9,886
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△17,433	△12,258
株式の発行による収入	3,986	161,820
新株予約権の発行による収入	11,346	1,936
新株予約権買取による支出	—	△11,217
配当金の支払額	△12,762	△12,807
財務活動によるキャッシュ・フロー	△99,816	△89,729
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	4,252	90,903
現金及び現金同等物の期首残高	49,695	13,048
現金及び現金同等物の四半期末残高	53,947	103,952

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当社は、平成24年8月24日付で、株式会社ティーティーアイから第三者割当増資の払込みを受けました。この結果、当第2四半期累計期間において資本金が81,220千円、資本準備金が80,600千円増加し、当第2四半期会計期間末において資本金が294,592千円、資本準備金が415,072千円となっております。